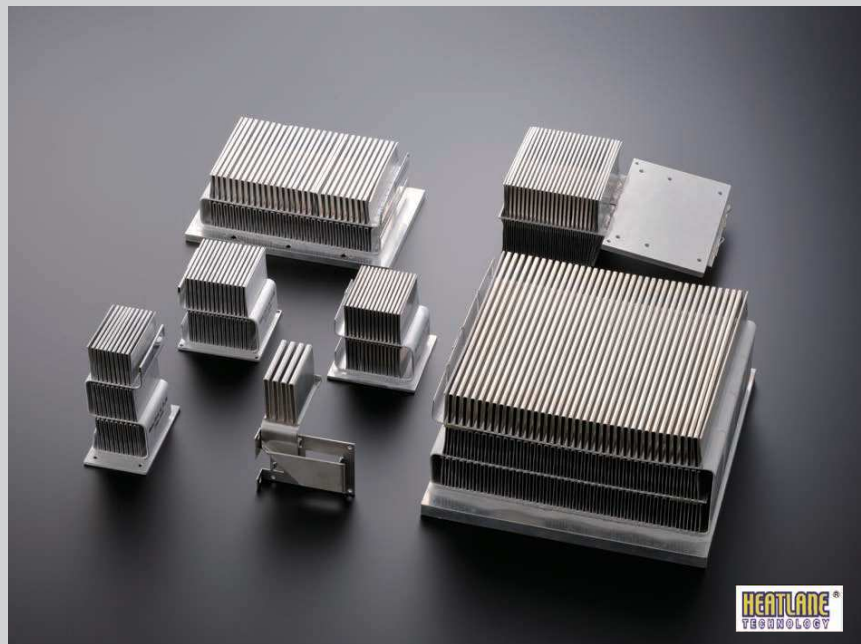


# ヒートレーン HEATLANE



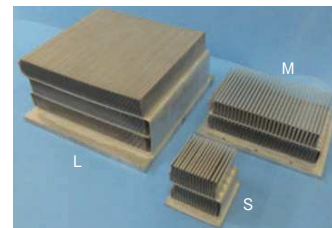
従来の放熱器では特性向上のためにサイズアップや高風速化等の対策がとられてきました。しかし、こうした手法は装置の小型・軽量・低騒音化といった市場のニーズに逆行するため、やむなく装置のスペックダウンを選択せざるを得ないケースがしばしば発生していました。ヒートレーンはこの問題を解決するため独自に開発した折りたたみ状のプレートを採用した新しいタイプの放熱器で、限られたスペースの中でも最大限の放熱効果を発揮します。

# ヒートレーン HEATLANE



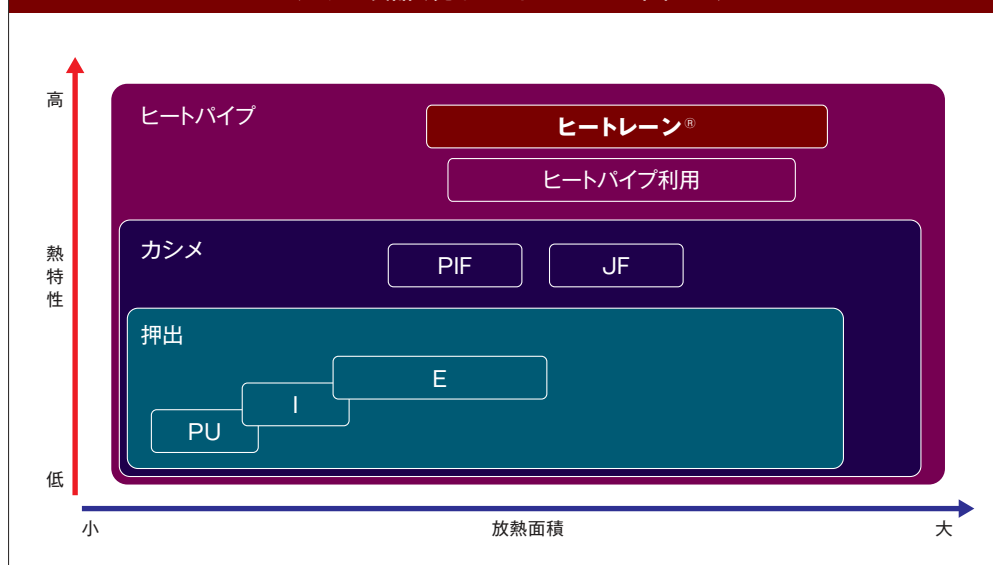
■基準サンプル  
[測定条件]  
強制空冷、ボトムヒート

※ 基準サンプルは受注生産品です。  
詳細はお問い合わせください。

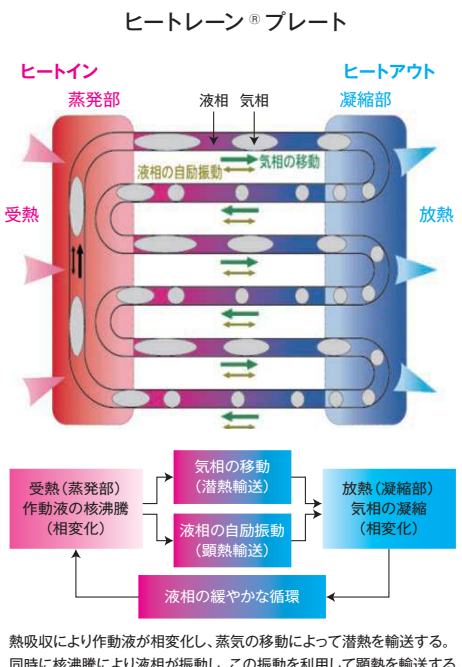
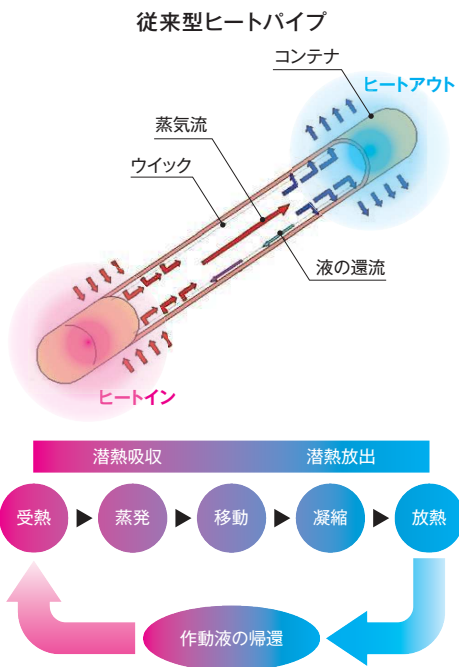


タイプ	寸法	熱特性		重量 (g)	備考
		熱負荷 (W)	熱抵抗 (°C/W)		
S	幅80×長さ80×高さ77 (mm)、ベース3t フィン0.5t×長さ60 (mm)、30枚×2段	50	0.166	260	ヒーター：60×60 (mm) 前面風速：3.5 (m/s)
		100	0.168		
M	幅200×長さ130×高さ70 (mm)、ベース8t フィン0.5t×長さ100 (mm)、56枚×2段	200	0.063	1130	ヒーター：140×130 (mm) 前面風速：2.0 (m/s)
		500	0.065		
L	幅240×長さ250×高さ110 (mm)、ベース12t フィン0.5t×長さ200 (mm)、74枚×3段	1000	0.035	5370	ヒーター：120×155 (mm) 前面風速：3.5 (m/s)
		1600	0.034		

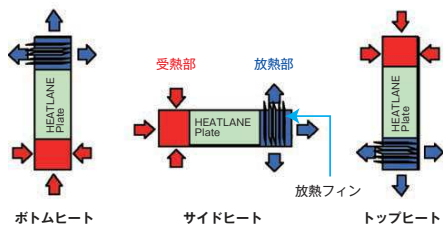
## ミズデン製品で見るヒートレーン® の位置づけ



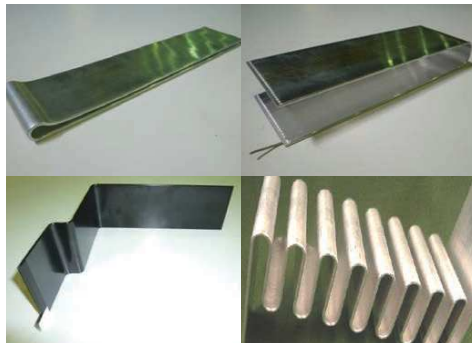
## 従来型ヒートパイプとヒートレーン®プレートの熱循環の比較



## あらゆる姿勢での熱輸送が可能



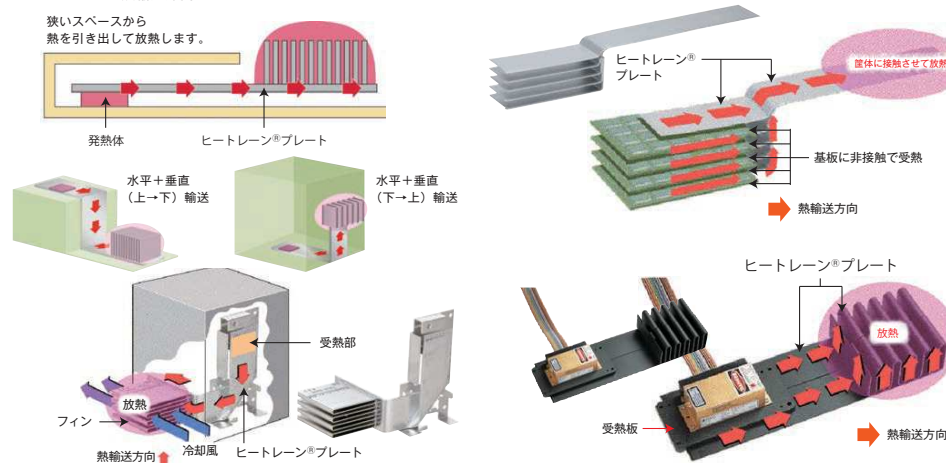
## 多彩な曲げ加工例



## ヒートレーンの放熱のしくみ ①—「運んで冷やす」

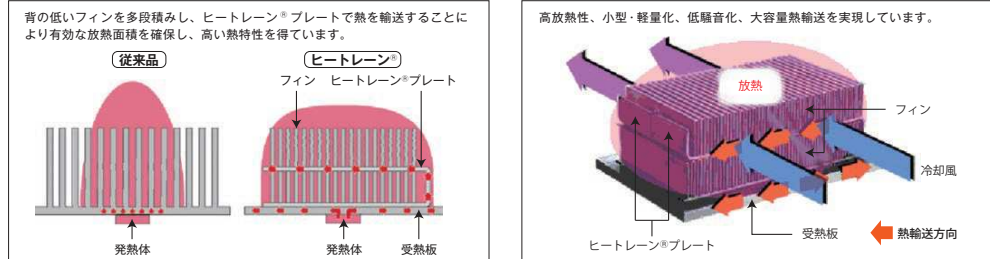
発熱部に十分なスペースを設けられない場合や、筐体の外で放熱しなければならない場合などに最適なソリューションです。

### ■ヒートレーン®の熱輸送方向のイメージ



## ヒートレーンの放熱のしくみ ②—「広げて冷やす」

熱をすばやく拡散し、放熱面積を広げます。発熱密度の高い素子の冷却に極めて有効です。



### ■放熱効果の比較 (CFDによる解析事例)

[測定条件]

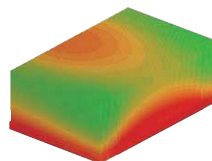
共通形状: 幅200×長さ130×高さ70 (mm) / ベース

厚さ: 8.2 (mm)

熱源: 140×130 (mm)、500 (W) / 前面風速: 2 (m/s)

タイプ	フィン形状	熱抵抗 (°C/W)	重量 (g)
ヒートレーン®	0.5t×長さ110×高さ28 (mm)、56枚×2段	0.064	1130
従来品	0.5t×長さ130×高さ61.8 (mm)、66枚	0.088	1300

従来品 (ハンダ付けタイプ)



約30%性能UP! (当社比)

ヒートレーン®

